

2025年

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表の結果と改善目標、講評

職員の研修の機会を設ける事により、経験の浅い職員の育成ができた。
強度行動障害の基礎研修をほとんどの職員が受講できた。
関係機関との連携においては、昨今の事情を踏まえ、少しずつ交流等を再開している。
岩田団地の集会所をお借りして、天候に左右されない子供の遊び場の確保ができた。
また、利用児童が居住する地域において、保護者様が近所のかたと連携できるように、アドバイスをしていきたい。

保護者様が、子育ての悩み等相談できる体制が周知されはじめ、多くの相談が寄せられた。
引き続き、気軽に相談できる雰囲気づくりをしていきたい。

支援開始前の打ち合わせを必ず行うように心がけた。

感染症マニュアルについては、保護者にも周知できたが、防犯マニュアルの周知をきちんと行っていく。虐待防止についての研修は、しっかりとできた。

長期休みにおいて、岩田団地の集会所をお借りするなど、気候による、様々な対策を行って、体を動かすことができたと思う。また、障害の程度により、遊び方やできることの違いを考えて、個人の特性に合わせた支援をすることができた。
今年は、食事支援、買い物、外食などの支援もできた。

ヒヤリハットの事例を防災、感染、送迎時などあらゆる場面で挙げていき、職員の意識を高める研修回数も増やすことができ、事故防止を周知できた。